



平成19年12月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年10月26日

上場取引所

名証二部

上場会社名 富士変速機株式会社

URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>

コード番号 6295

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 中島 寿和

問合せ先責任者 役職名 取締役管理部長 氏名 島田 寿男

TEL (058) 271 - 6521

(百万円未満切捨て)

1. 平成19年12月期第3四半期の業績 (平成19年1月1日 ~ 平成19年9月30日)

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第3四半期	5,001	5.6	184	82.4	209	64.1	101	48.9
18年12月期第3四半期	4,736	23.2	100	432.0	127	13.4	68	6.4
18年12月期	6,326	—	130	—	162	—	81	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年12月期第3四半期	6 00	—
18年12月期第3四半期	4 03	—
18年12月期	4 81	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年12月期第3四半期	11,239	9,249	82.3	546 72
18年12月期第3四半期	10,939	9,291	84.9	549 24
18年12月期	10,869	9,291	85.5	549 19

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年12月期第3四半期	184	30	△ 82	2,610
18年12月期第3四半期	74	△ 39	△ 82	2,682
18年12月期	△ 85	△ 81	△ 84	2,478

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	中間期末		期末		年間
	円	銭	円	銭	円 銭
18年12月期	2	50	2	50	5 00
19年12月期(実績)	2	50			7 00
19年12月期(予想)			4	50	

(注) 19年12月期(予想)期末配当金の内訳
 普通配当 2 円 50 銭
 記念配当 2 円 00 銭

なお、記念配当の詳細につきましては、本日平成19年10月26日公表の「創業 60 周年記念配当の実施に伴う期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成19年12月期業績予想 (平成19年1月1日 ~ 平成19年12月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	6,570	3.9	170	30.8	185	14.2	90	11.1	5	32

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報 を参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景とした設備投資の増加や雇用情勢の改善など、景気は緩やかな回復基調にありましたが、米国経済や原油価格の動向など先行き留意する要素もあり、当社におきましても、企業間の価格競争や相次ぐ原材料価格の値上げなど、予断を許さない状況にありました。

このような環境のもと、当社は平成19年4月15日をもちまして創業60周年を迎え、攻めの事業戦略の展開による競争力の強化と事業価値の向上に取り組んでまいりました。また、生産面では、主力工場である美濃工場において、環境マネジメントシステムの国際規格『ISO14001』を認証取得するなど、環境配慮の生産体制を整えてまいりました。

減速機関連事業においては、産業用機械向け販売を中心に、「お客様の理想を形にする」アレンジ製品の提供や展示会出展などでお客様のニーズを捉え、積極的な提案型営業による拡販を進めたほか、一部製品について販売価格の適正化を図るなど、顧客満足獲得と売上向上に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業においては、昨年6月の改正道路交通法の施行以降、足元の機械式駐車場需要は高まり引き合い件数が増加するなか、主力製品であるパズルタワーを重点的に販促し、安定した受注残高を確保するとともに、新規物件の完工が増加し、受注、売上とも好調に推移いたしました。

室内外装品関連事業においては、スライディングドアの受注量増加に対応した生産を進め、生産性の向上による安定した収益確保に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期の売上高は5,001百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は184百万円（前年同期比82.4%増）、経常利益は209百万円（前年同期比64.1%増）、四半期純利益は101百万円（前年同期比48.9%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

[資産]

当第3四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ369百万円増加し11,239百万円となりました。

流動資産は、主に受取手形が194百万円減少した一方で、現金及び預金が132百万円増加したことや完成工事未収入金が293百万円増加したこと、また、駐車場装置関連事業で受注残高の増加などでたな卸資産が405百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ592百万円増加し7,060百万円となりました。

固定資産は、主に有形固定資産が減価償却等により88百万円減少したことや兄弟会社に対する長期貸付金が64百万円減少したこと、また、保有株式の株価低迷により投資有価証券が97百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ223百万円減少し4,179百万円となりました。

[負債]

当第3四半期末の負債は、前事業年度末に比べ411百万円増加し1,990百万円となりました。

流動負債は、主に流動資産と同様に駐車場装置関連事業で受注残高の増加などで支払手形、買掛金及び工事未払金が185百万円増加したことや現在進行中の駐車場工事に係る前受代金が183百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ413百万円増加し1,712百万円となりました。

固定負債は、主に退職給付引当金が減少したことなどにより、前事業年度末に比べ1百万円減少し278百万円となりました。

[純資産]

当第3四半期末の純資産は、前事業年度末に比べ42百万円減少し9,249百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が16百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が58百万円減少したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ3.2ポイント減少し82.3%となり、1株当たり純資産額は前事業年度末に比べ2円47銭減少し546円72銭となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

現金及び現金同等物(以下「資金」という)の第3四半期末残高は、2,610百万円(前事業年度末 2,478百万円)となりました。

これは、営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローの合計が132百万円増加したことによるものであります。

なお、当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、184百万円の増加(前第3四半期は74百万円の増加)となりました。

これは主に、たな卸資産の増加額405百万円、法人税等の支払額104百万円等による減少があった一方で、税引前四半期純利益206百万円、減価償却費147百万円、売上債権の減少額116百万円、仕入債務の増加額192百万円等による増加があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、30百万円の増加(前第3四半期は39百万円の減少)となりました。

これは主に、固定資産の取得による支出37百万円があった一方で、貸付けの回収による収入69百万円があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、82百万円の減少(前第3四半期は82百万円の減少)となりました。

これは主に、株主配当金の支払があったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は、減速機関連事業が予想を下回るものの、駐車場装置関連事業ならびに室内外装品関連事業が堅調に推移しており、売上高、利益とも前第3四半期を上回る進捗を見せておりますが、原油価格や金利の動向など不透明な要素も多く、原材料価格の更なる上昇で製造コスト高が懸念されるなど、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われまます。

これらの状況を踏まえ、通期の業績予想につきましては、現時点では、平成19年8月9日の中間決算発表時に公表した通期業績予想数値を変更しておりません。

なお、期末配当予想につきましては、前回発表予想の普通配当2円50銭に、創業60周年記念配当2円を加え、1株当たり4円50銭に修正しております。詳細につきましては、本日平成19年10月26日公表の「創業60周年記念配当の実施に伴う期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等は、法定実効税率をベースとした予測税率により計算しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更 | 無 |

(有形固定資産の減価償却の方法)

法人税法の改正((所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号)及び(法人税法施行令の一部を改正する政令 平成19年3月30日 政令第83号))に伴い、平成19年4月1日以降に取得したものについては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約)四半期財務諸表

(1) (要約)四半期貸借対照表

区分	前第3四半期 (平成18年9月30日)		当第3四半期 (平成19年9月30日)		増 減	(参考) 前事業年度 (平成18年12月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)		金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金	2,682,322		2,610,947		△ 71,375	2,478,833	
2 受取手形	622,700		562,581		△ 60,118	756,941	
3 売掛金	479,069		512,689		33,620	521,613	
4 完成工事未収入金	291,370		645,518		354,147	352,237	
5 たな卸資産	1,282,033		1,706,623		424,589	1,300,943	
6 短期貸付金	92,000		87,000		△ 5,000	92,000	
7 未収入金	937,661		871,338		△ 66,323	893,946	
8 その他	83,232		71,654		△ 11,577	78,481	
9 貸倒引当金	△ 7,347		△ 8,344		△ 996	△ 7,914	
流動資産合計	6,463,042	59.1	7,060,008	62.8	596,966	6,467,082	59.5
II 固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物	986,165		933,041		△ 53,124	972,853	
(2) 機械及び装置	322,266		349,415		27,149	396,485	
(3) 土地	1,557,896		1,557,896		—	1,557,896	
(4) 建設仮勘定	107,785		2,111		△ 105,673	11,410	
(5) その他	103,573		112,416		8,842	105,152	
有形固定資産合計	3,077,688	28.1	2,954,882	26.3	△ 122,806	3,043,798	28.0
2 無形固定資産	32,852	0.3	24,806	0.2	△ 8,045	31,971	0.3
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券	797,034		675,964		△ 121,070	773,645	
(2) 長期貸付金	410,000		323,000		△ 87,000	387,000	
(3) その他	164,899		205,963		41,064	171,569	
(4) 貸倒引当金	△ 6,307		△ 5,269		1,038	△ 5,461	
投資その他の資産合計	1,365,626	12.5	1,199,658	10.7	△ 165,967	1,326,753	12.2
固定資産合計	4,476,167	40.9	4,179,347	37.2	△ 296,820	4,402,524	40.5
資産合計	10,939,210	100.0	11,239,356	100.0	300,145	10,869,606	100.0

区分	前第3四半期 (平成18年9月30日)		当第3四半期 (平成19年9月30日)		増 減	(参考) 前事業年度 (平成18年12月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)		金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)							
I 流動負債							
1 支払手形	631,188		695,735		64,547	638,128	
2 買掛金	284,531		307,373		22,841	293,428	
3 工事未払金	92,072		198,900		106,827	84,794	
4 未払法人税等	40,476		61,736		21,260	72,116	
5 引当金	92,829		93,321		492	40,528	
6 その他	220,463		355,015		134,552	169,299	
流動負債合計	1,361,562	12.5	1,712,083	15.2	350,520	1,298,296	11.9
II 固定負債							
1 繰延税金負債	4,446		—		△ 4,446	—	
2 退職給付引当金	252,536		246,464		△ 6,072	250,347	
3 役員退職慰労引当金	24,661		27,759		3,098	25,844	
4 その他	4,028		4,028		—	4,028	
固定負債合計	285,673	2.6	278,252	2.5	△ 7,421	280,220	2.6
負債合計	1,647,235	15.1	1,990,335	17.7	343,099	1,578,516	14.5
(純資産の部)							
I 株主資本							
1 資本金	2,507,500	22.9	2,507,500	22.3	—	2,507,500	23.1
2 資本剰余金	3,896,950	35.6	3,896,950	34.7	—	3,896,950	35.9
3 利益剰余金	2,903,253	26.6	2,933,427	26.1	30,174	2,916,475	26.8
4 自己株式	△ 197,218	△ 1.8	△ 197,414	△ 1.8	△ 195	△ 197,235	△ 1.8
株主資本合計	9,110,485	83.3	9,140,463	81.3	29,978	9,123,690	84.0
II 評価・換算差額等							
その他有価証券評価差額金	181,489	1.6	108,556	1.0	△ 72,932	167,400	1.5
評価・換算差額等合計	181,489	1.6	108,556	1.0	△ 72,932	167,400	1.5
純資産合計	9,291,974	84.9	9,249,020	82.3	△ 42,954	9,291,090	85.5
負債及び純資産合計	10,939,210	100.0	11,239,356	100.0	300,145	10,869,606	100.0

(2) (要約)四半期損益計算書

区分	前第3四半期 〔自 平成18年1月1日 至 平成18年9月30日〕		当第3四半期 〔自 平成19年1月1日 至 平成19年9月30日〕		増 減	(参考) 前事業年度 〔自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日〕	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)		金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	4,736,884	100.0	5,001,661	100.0	264,777	6,326,017	100.0
II 売上原価	4,087,394	86.3	4,251,720	85.0	164,326	5,464,262	86.4
売上総利益	649,490	13.7	749,940	15.0	100,450	861,754	13.6
III 販売費及び一般管理費	548,611	11.6	565,892	11.3	17,281	731,326	11.5
営業利益	100,878	2.1	184,048	3.7	83,169	130,428	2.1
IV 営業外収益	33,403	0.7	33,593	0.7	190	43,005	0.7
V 営業外費用	6,459	0.1	7,828	0.2	1,369	11,409	0.2
経常利益	127,823	2.7	209,814	4.2	81,991	162,024	2.6
VI 特別利益	1,270	0.0	207	0.0	△ 1,063	1,354	0.0
VII 特別損失	2,972	0.0	3,428	0.1	455	3,290	0.1
税引前四半期(当期) 純利益	126,120	2.7	206,592	4.1	80,472	160,088	2.5
法人税等	57,948	1.3	105,051	2.1	47,102	78,695	1.2
四半期(当期)純利益	68,171	1.4	101,541	2.0	33,369	81,393	1.3

(3) (要約)四半期株主資本等変動計算書

前第3四半期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年9月30日)

項目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成17年12月31日残高 (千円)	2,507,500	3,896,950	2,926,062	△ 197,128	9,133,383
当第3四半期中の変動額					
剰余金の配当	—	—	△ 84,590	—	△ 84,590
役員賞与金	—	—	△ 6,390	—	△ 6,390
四半期純利益	—	—	68,171	—	68,171
自己株式の取得	—	—	—	△ 89	△ 89
当第3四半期中の変動額 合計 (千円)	—	—	△ 22,809	△ 89	△ 22,898
平成18年9月30日残高 (千円)	2,507,500	3,896,950	2,903,253	△ 197,218	9,110,485

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成17年12月31日残高 (千円)	242,021	242,021	9,375,405
当第3四半期中の変動額			
剰余金の配当	—	—	△ 84,590
役員賞与金	—	—	△ 6,390
四半期純利益	—	—	68,171
自己株式の取得	—	—	△ 89
株主資本以外の項目の 当第3四半期中の 変動額(純額)	△ 60,532	△ 60,532	△ 60,532
当第3四半期中の変動額 合計 (千円)	△ 60,532	△ 60,532	△ 83,431
平成18年9月30日残高 (千円)	181,489	181,489	9,291,974

当第3四半期 (自 平成19年1月1日 至 平成19年9月30日)

項目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年12月31日残高 (千円)	2,507,500	3,896,950	2,916,475	△ 197,235	9,123,690
当第3四半期中の変動額					
剰余金の配当	—	—	△ 84,588	—	△ 84,588
四半期純利益	—	—	101,541	—	101,541
自己株式の取得	—	—	—	△ 179	△ 179
当第3四半期中の変動額 合計 (千円)	—	—	16,952	△ 179	16,773
平成19年9月30日残高 (千円)	2,507,500	3,896,950	2,933,427	△ 197,414	9,140,463

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年12月31日残高 (千円)	167,400	167,400	9,291,090
当第3四半期中の変動額			
剰余金の配当	—	—	△ 84,588
四半期純利益	—	—	101,541
自己株式の取得	—	—	△ 179
株主資本以外の項目の 当第3四半期中の 変動額(純額)	△ 58,843	△ 58,843	△ 58,843
当第3四半期中の変動額 合計 (千円)	△ 58,843	△ 58,843	△ 42,069
平成19年9月30日残高 (千円)	108,556	108,556	9,249,020

前事業年度 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)

項目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成17年12月31日残高 (千円)	2,507,500	3,896,950	2,926,062	△ 197,128	9,133,383
当事業年度中の変動額					
剰余金の配当	—	—	△ 84,590	—	△ 84,590
役員賞与金	—	—	△ 6,390	—	△ 6,390
当期純利益	—	—	81,393	—	81,393
自己株式の取得	—	—	—	△ 106	△ 106
当事業年度中の変動額 合計 (千円)	—	—	△ 9,587	△ 106	△ 9,693
平成18年12月31日残高 (千円)	2,507,500	3,896,950	2,916,475	△ 197,235	9,123,690

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成17年12月31日残高 (千円)	242,021	242,021	9,375,405
当事業年度中の変動額			
剰余金の配当	—	—	△ 84,590
役員賞与金	—	—	△ 6,390
当期純利益	—	—	81,393
自己株式の取得	—	—	△ 106
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額 (純額)	△ 74,621	△ 74,621	△ 74,621
当事業年度中の変動額 合計 (千円)	△ 74,621	△ 74,621	△ 84,315
平成18年12月31日残高 (千円)	167,400	167,400	9,291,090

(4) (要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

区分	前第3四半期	当第3四半期	(参考) 前事業年度
	〔自 平成18年1月1日 至 平成18年9月30日〕	〔自 平成19年1月1日 至 平成19年9月30日〕	〔自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日〕
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税引前四半期(当期)純利益	126,120	206,592	160,088
2 減価償却費	125,727	147,038	180,629
3 貸倒引当金の増減額	△ 766	237	△ 1,045
4 引当金の増加額	68,086	52,793	15,785
5 退職給付引当金の減少額	△ 6,676	△ 3,882	△ 8,866
6 役員退職慰勞引当金の増加額	3,549	1,915	4,732
7 売上債権の増減額	△ 10,985	116,720	△ 214,618
8 たな卸資産の増加額	△ 72,490	△ 405,680	△ 91,399
9 仕入債務の増減額	△ 102,742	192,157	△ 100,254
10 法人税等の支払額	△ 49,698	△ 104,900	△ 49,852
11 その他	△ 5,450	△ 18,325	19,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,674	184,666	△ 85,235
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 固定資産の取得による支出	△ 109,692	△ 37,774	△ 174,122
2 貸付けの回収による収入	69,000	69,000	92,000
3 その他	974	△ 880	696
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 39,718	30,345	△ 81,425
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 配当金の支払額	△ 82,647	△ 82,718	△ 84,504
2 自己株式の取得による支出	△ 89	△ 179	△ 106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 82,737	△ 82,897	△ 84,610
IV 現金及び現金同等物の増減額	△ 47,781	132,113	△ 251,271
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,730,104	2,478,833	2,730,104
VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,682,322	2,610,947	2,478,833

6. 事業部門別業績

前第3四半期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年9月30日)

項目	減速機 関連事業 (千円)	駐車場装置 関連事業 (千円)	室内外装品 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	合計 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,410,352	1,794,928	531,604	4,736,884	—	4,736,884
(2) 事業部門間の内部売上高 又は振替高	43,697	—	—	43,697	(43,697)	—
計	2,454,049	1,794,928	531,604	4,780,581	(43,697)	4,736,884
営業費用	2,396,262	1,735,522	547,918	4,679,703	(43,697)	4,636,005
営業利益又は営業損失(△)	57,787	59,406	△ 16,314	100,878	—	100,878

当第3四半期 (自 平成19年1月1日 至 平成19年9月30日)

項目	減速機 関連事業 (千円)	駐車場装置 関連事業 (千円)	室内外装品 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	合計 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,357,832	2,043,952	599,876	5,001,661	—	5,001,661
(2) 事業部門間の内部売上高 又は振替高	132,483	—	—	132,483	(132,483)	—
計	2,490,316	2,043,952	599,876	5,134,145	(132,483)	5,001,661
営業費用	2,495,603	1,901,739	552,754	4,950,097	(132,483)	4,817,613
営業利益又は営業損失(△)	△ 5,287	142,213	47,122	184,048	—	184,048

前事業年度 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)

項目	減速機 関連事業 (千円)	駐車場装置 関連事業 (千円)	室内外装品 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	合計 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,245,567	2,375,926	704,523	6,326,017	—	6,326,017
(2) 事業部門間の内部売上高 又は振替高	62,139	—	—	62,139	(62,139)	—
計	3,307,707	2,375,926	704,523	6,388,157	(62,139)	6,326,017
営業費用	3,246,689	2,290,492	720,547	6,257,728	(62,139)	6,195,589
営業利益又は営業損失(△)	61,017	85,434	△ 16,023	130,428	—	130,428

- (注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。
2. 各事業の主な製品
(1) 減速機関連事業……………減速機、シャッタ開閉機、電動シャッタ水圧開放装置
(2) 駐車場装置関連事業……………機械式立体駐車装置
(3) 室内外装品関連事業……………可動間仕切
3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。